

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

血液透析患者のかゆみの実態の調査と介入の効果

2. 研究責任者(当院)

所属:看護部 透析室

氏名:井上利紗

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名:なし

代表名:なし

3. 分担研究者

所属:看護部 透析室 医師 腎臓内科

氏名:高橋由起 寺崎紀子 藤井隆之

4. 研究対象者

2025 年 11 月の現時点にて聖隷佐倉市民病院で血液透析をされている 202 名の患者

5. 研究の必要性

透析患者の約 60～80%が訴える掻痒症は、睡眠障害や QOL 低下に直結する重大な問題である。その原因は、透析不足や皮膚の乾燥、高リン血症、高 PTH 血症や炎症の問題など多因子的であり、複雑に絡み合っている。治療として、従来の保湿や抗ヒスタミン剤に加え、新規薬剤(ジフェリケファリン)も使用が可能となった。実際、スタッフ側が患者の痒みに関しての関心度の低さや患者側からも治らないものとして実際には問題として挙げられていないケースも多く、頻度は私達が認識されているものより多い可能性がある。痒みの実態と関連因子を明らかにすることで、将来的な効果的な介入の基盤を作り、患者の QOL 向上に繋げるために本研究が必要である。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

本研究は、後方視的研究であり、参加個人への影響はありませんが、高齢化する透析患者さんの生活の質の改善、将来的な生命予後の改善につながる事が予測されます。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号:043-486-1151(代表)

担当者氏名:井上利紗

対応時間:8:30-17:00

共同研究において専用窓口がある場合

なし